

フロン排出抑制法に伴う（簡易・定期）点検業務実施要領

- 1 目 的
- センターに設置してある第一種特定製品機器のフロン漏えいを未然に防ぐため、フロン排出抑制法に基づき適切な点検を実施することにより、センター業務の円滑な運営に寄与する。
- 2 業務場所
- 宇都宮市陽南4丁目9番13号 地方独立行政法人栃木県立がんセンター
- 宇都宮市陽南4丁目11番12号 地方独立行政法人栃木県立がんセンター職員宿舎
- 3 業務の対象となる設備の設置場所及び種別、数量
- 以下の設備について、法定点検を行う。

対象機器台数

設置場所 種別	本館	手術西	新外来	MT棟	研究棟	管理棟	患者支援	新館	宿舎	合計
UAC(PMAC含む)	83	0	0	0	0	1	0	0	0	84
PAC室外機	96	8	9	5	23	21	10	20	43	235
PAC室内機	120	14	42	12	87	45	23	59	46	448
一体型	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
CFU室外機	1	1	0	0	1	0	0	3	0	6
CFU室内機	3	4	0	0	6	0	0	19	0	32
OPAC室外機	0	1	3	0	3	0	0	0	0	7
OPAC室内機	0	1	3	0	3	0	0	0	0	7
チラー	3	0	0	3	3	0	0	0	0	9
冷凍冷蔵庫	84	0	11	0	23	0	0	20	0	138
合計	397	29	68	20	149	67	33	121	89	973

PAFMACはUACに含む

- 4 点検要項
- 改正フロン法(フロン排出抑制法)2015年4月施行に基づき点検を行うこと。
- 5 留意事項
- センターの業務に支障をきたすおそれのある作業等については、センターの指定する日時に行うよう調整すること。
- 6 点検結果報告書の提出
- 受託者は、点検業務完了後30日以内に、フロン排出抑制法に伴う点検結果報告書を作成しセンターに提出しなければならない。
- 7 不良箇所の処置
- 点検等の結果、不良箇所がある場合には、直ちにセンターに報告しなければならない。
- 8 改正フロン法（フロン排出抑制法）にかかるセンターの義務
- ①センターは、漏えいの対処として適切な専門業者に修理、フロン類の充填を依頼するものとする。
- ②センターは、機器の点検・修理・冷媒の充填・回収の履歴を当該機器の設置から廃棄まで保存するものとする。
- ③センターは、使用時漏えい量が「1,000CO₂-ton」以上の場合、所管大臣に報告するものとする。